

ふれあい

2014年

3月

発行:医療法人 社団協友会 八潮中央総合病院 編集:広報委員会 〒340-0808 埼玉県八潮市緑町1丁目41-3 TEL 048-996-1131

お子様の健やかな成長を願って

小児科・泉医師がお悩みにお答えします！

お子様の成長は、保護者の皆さんの最大の関心事です。保護者の皆さんのご要望に応じて、今号では小児科の泉陽一医師がいろいろな悩みにお答えさせていただくことになりました。

はじめまして八潮中央総合病院で小児科を担当させていただいております泉です。今回は日常診療でよく聞かれるご質問についてお答えさせていただこうと思います。詳細な各論的な質疑応答ではなく、お子様について、日頃こんな事に注意しながら、お子様の健康を見守っていただければと考えていることをお話しさせていただきます。



質問「同年齢のお子さんと比べて全体的に発達が遅れているのでは？」

例えば、「しゃべらない、歩かない」、「身長伸びが悪い、体重が増えない」など。

泉医師の回答

「個人差はありますが、不安な場合はご受診を」

お子様の成長と発達は、個人差もあり、できるはずの事ができなかつたりする場合には親御さんにとって大きな心配になると思います。そのため乳児健診でよく確認することが重要です。ほとんどが問題ない場合が多いのですが、なかには何らかの病気が隠れている場合があります。健診で異常指摘があり、経過を診させていただく場合がありますが、その都度、医療機関を受診いただくことが大切です。また健診時に異常指摘がない場合でも、次の健診時までには不安がある場合には、ご遠慮なく医療機関へのご受診をお勧めします。

また、乳児健診で何も異常がなくても、それ以降の幼児期や学童期に至るまでに、身長の伸びや（伸びない、伸びすぎ）、体重（増えない、増えすぎ）等にも気を配ることが大切です。幼稚園や小学校で定期的な身体測定があると思いますので、記録をとっておくことが大切です。

最近ではインターネットの普及により、いろいろなホームページ上でお子様の身長や体重を入力して、体格に異常があるかないかの判断もできるようになりました。毎日一緒に暮らしていると、なかなか気がつきにくいことがあります。同じ年齢のお友達と一緒にいるときに、その差がよくわかったりします。「うちの子、お友達より頭一つぶん身長が・・・」、「何か身長の割には体重が・・・」などお気付きになられた際には、一度、ご受診いただければと思います。



質問「高熱がよく出るのですが…」

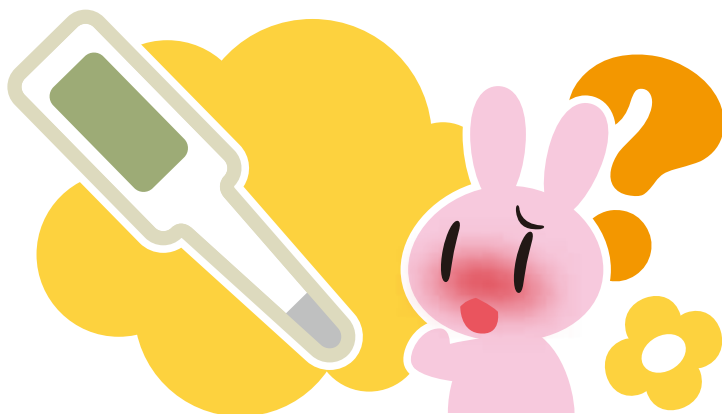


泉医師の回答

『3 か月未満の発熱』や『経過の長い発熱』
はご注意ください

発熱に関しての不安はとても大きいことだと思います。

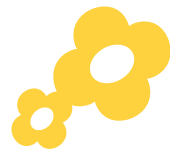
一般的に発熱は「37.5 度以上」あるいは「平熱より 1℃以上高い体温」と言われていますが、月齢、年齢によっても違うとされています。小児の平均体温については生後 0～6 ヶ月で 37.5℃、6 ヶ月～3 歳で 37.2℃、3～11 歳で 36.7℃などと言われています。



小児の発熱の特徴は「病気の進行が早い」、「急性の感染症が多い」、「月齢、年齢によって特徴がある」、「脱水に陥りやすい」などがありますが、中でも注意が必要な発熱は、生後 3 ヶ月未満の児の発熱です。通常は、かぜ症候群の原因となる多くのウイルスに対する抗体を母親からもらっているため、その月齢ではかかりにくい筈です。そういった抗体（移行抗体）を持ち合わせているにもかかわらず、発熱が生じる様な場合は重症感染症の可能性が高く、3 ヶ月未満の児が発熱した場合には、入院施設のある近隣医療機関へのご紹介も考えながら診療をさせていただいております。例え帰宅された場合でも再受診していただき経過は必ず診察させていただきます。

発熱時に注意すべき病歴や症状として、「生後 3 ヶ月未満の発熱」、「40℃以上の発熱」、「活気（元気）がなく、ぐったりしている」、「泣き声が弱々しい、泣かない、あるいはいつもと違う」、「不機嫌、笑わない」、「刺激に対しての反応が弱い」、「けいれんを起こしているあるいは意識レベルの変化」、「水分摂取が少ない、眼が落ち窪んでいる」、「4 日以上続く発熱」、「呼吸が悪い、口唇が青紫色になる、呼吸するとき胸が陥没する、多呼吸など」等に注意をして見ていただくことが大切です。

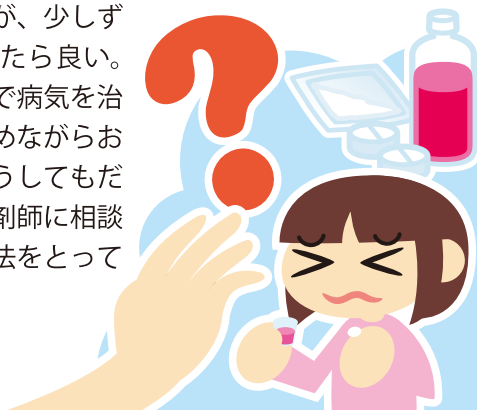
質問「薬をなかなか飲んでくれません」



泉医師の回答

「お薬は焦らず、ほめながら」

お薬の上手な飲ませ方については、お薬の原則は水や白湯で飲ませます が、お子様が飲めなかったり、飲みにくい場合には、お子様が好きな飲食物に混ぜてもかまいません。ただし混ぜると苦みが増してしまう場合もありますので、実際にお薬を受け取った際に薬剤師に確認すると良いです。病院や薬局には服薬のポイントが書いてあるパンフレットなども用意している場合があります。実際にお子様がなかなか薬を飲んでくれない場合には、ご両親も「お願いだから飲んで」という気持ちになってしまうと思いますが、少しずつでも飲んでくれたら良い。焦らずお薬をのんで病気を治しましょうね。ほめながらお薬をすすめる、どうしてもだめならもう一度薬剤師に相談してみるなどの方法をとってみるのも良いです。



質問「咳が止まらないのですが…」

泉医師の回答

「継続期間や質で異なる『咳』の原因」

咳の継続期間の区別に 3 週間以内の咳を急性咳嗽、3 週間以上 8 週間以内の咳を遷延性咳嗽、8 週間以上の咳を慢性咳嗽としますが、持続する期間によって咳の原因となる病気が変わってきます。また一日のうちで、日中夜間も絶え間なくでる咳なのか、あるいは朝や夜だけひどくなる咳なのか、咳の出現する時間帯も病気を鑑別していく上でとても重要です。咳の質については、痰が絡む咳なのか、乾咳なのかも重要です。気道の粘膜が腫れてしまうクループ症候群の場合の犬吠様の咳は甲高い咳でとても特徴のある咳です。息継ぎが出来ないほど連続的に続く百日咳の咳など、病気によっても特徴が違います。ご受診いただいた際には、そういった咳の内容について、詳しくおうかがいさせていただきます。



プロフィール

.....

泉 陽一（いずみ よういち）

医学博士

専門：小児科、小児内分泌代謝

所属：日本小児科学会

次回では、「予防接種の優先順位や副反応など」についてお話しします。

ワークアウト予選大会開催！ リハビリテーション科の地域活動を発表

昨年 12 月 14 日、AMG（上尾中央医科グループ）主催の「ワークアウト予選大会」が開催され、当日は、グループ内 15 の医療機関から 20 の発表がありました。

当院からは「地域リハビリテーションへの取り組み」と「手指衛生向上への取り組み」の 2 テーマを発表しました。

今号では、地域リハビリテーションへの取り組みを発表したリハビリテーション科の野中麻代から、その内容や感想などを報告いたします。

「初心に帰り地域から信頼される病院づくりを」

リハビリテーション科 野中 麻代



昨年 12 月 14 日、ワークアウト予選大会が開催されました。

ワークアウト活動とは、より良い医療を提供するために AMG グループが行っている活動の一つです。各病院・施設が現場での質の向上などを目的にテーマ設定、対策を検討し、それを報告するという機会がありました。

そこで私たちリハビリテーション科と地域連携室は、昨年 1 年間にわたり行ってきた地域活動について発表してきました。

現在、日本では高齢化が進み、それは八潮市も同様です。その現状で、今もっとも必要とされていることは、病気にかからない・怪我をしないといった＜予防＞です。八潮市の皆様も、「気を付けているけれど、実際にどうしたらよいかわからない」「何が一番良いのか…」など様々な疑問を抱えていることと思います。その手助けをするため、私たちは今回、一自治会に対し 3 か月間継続した運動習慣を提案し、実際に赴き＜健康ストレッチ講座＞を行ってきました。この講座により、市民・当院スタッフの双方に意識の変化や、知識に拡大がみられたと考えています。

そして、その結果や検討を他院・他施設に伝える機会を得たことは、私たちにとってとても大きな経験となりました。また、各病院・施設の発表では、様々な視点から問題を提起し、それぞれユーモアに富んだ企画がなされていました。それらの発表を聴くことは、当院の姿勢を見直し、初心を忘れないよう己を立ち返る良い機会ともなりました。

当院の地域活動は、まだ始まったばかりです。今回のことを通じ、今後も皆様の生活をより良くするための企画をし、邁進していこうと強く感じております。

そして、八潮市を支える一病院として、これからも皆様に信頼していただける病院づくりを職員一体となって目指していきます。

急募！八潮中央総合病院でいっしょに働きませんか？

八潮中央総合病院では現在、病院新築移転のため下記職種に付き急募しております。
ご興味ありましたらお気軽にご連絡下さい。

（職種）

- ・看護師・准看護師・介護福祉士・薬剤師・臨床工学技士
- ・言語聴覚士・放射線技士（女性）

（待遇）

- ・年間休日 120 日 ・社保完備 ・職員寮あり ・自動車通勤可
 - ・給与は、これまでのご経験を考慮し決定します。
 - ・新卒者のご応募もお待ちしております。
- ご連絡先は電話・メールにてご対応致します。



☎ 048-996-1131 Mail: jinji-yasio@estate.ocn.ne.jp 担当 総務課 市川

市内団体紹介

親子で楽しくすてっぷの会

子どもたちの心身ともに健やかな成長を願う親の会で、平成元年から活動しています。手遊び、読み聞かせのほか、季節のイベント等を通じて親子・友だちの交流を図ります。お母さんだけでなく、お父さん、おじいちゃん、おばあちゃんも、いつでもどうぞ！

活動日：毎週火曜日 活動場所：八幡公民館、わんぱる、公園
会費：年間300円 お問い合わせ：代表・小野光子 090-4010-6058



みんなで楽しく「おいも掘り」

送迎バスのご案内 <平成25年10月改定>

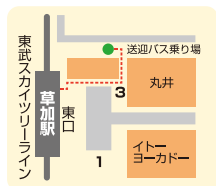
1号車 草加駅 東口行き

八潮中央総合病院



正面玄関よりワゴン車・マイクロバスが運行。

草加駅 東口



草加駅東口ロータリーから丸井と上島珈琲店の間の通路を抜けたあたり。サンキ前。

八潮中央総合病院			草加駅 東口	
7:40	発	↔	8:00	発
9:30	発	↔	9:45	発
10:30	発	↔	10:45	発
11:30	発	↔	11:45	発
12:30	発	↔	12:45	発
13:30	発	↔	13:45	発
15:30	発	↔	15:45	発
16:30	発	↔	16:45	発
17:40	発	↔	17:55	発
18:30	発	↔	18:45	発
19:15	発	↔	—	—

土曜日運休

(土) 土曜日のみ運行

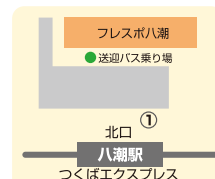
2号車 八潮駅 北口行き

八潮中央総合病院



正面玄関よりワゴン車・マイクロバスが運行。

八潮駅 北口



フレスポ八潮サンマルクカフェ前あたりに停車。

八潮中央総合病院			八潮駅 北口	
7:45	発	↔	8:00	発
8:25	発	↔	8:40	発
9:00	発	↔	9:15	発
9:30	発	↔	9:45	発
10:00	発	↔	10:15	発
10:30	発	↔	10:45	発
11:00	発	↔	11:15	発
12:15 (土)	発	↔	12:30 (土)	発
12:45 (土)	発	↔	13:00 (土)	発
13:15 (土)	発	↔	13:30 (土)	発
14:30	発	↔	14:45	発
15:30	発	↔	15:45	発
16:00	発	↔	16:15	発
16:30	発	↔	16:45	発
17:15	発	↔	17:30	発
17:45	発	↔	18:00	発
18:15	発	↔	18:30	発
18:45	発	↔	19:00	発
19:30	発	↔	—	—

■ 病院理念

「地域から信頼される病院」

■ 基本方針

私たちは、以下の基本方針を遵守し、信頼される病院を目指します。

1. 安心・安全な医療の提供
2. 紹介患者・救急患者の積極的な受入れ
3. 総合病院としての機能と充実
4. 教育研修の向上と研鑽
5. 患者さまの人格を尊重した医療

■ 患者さまの権利

私たちは、以下の権利を尊重します。

1. 適切な医療を受ける権利
2. 人権とプライバシーが保護される権利
3. 医療情報の説明を受ける権利
4. 医療行為を選択する権利
5. 診療録の開示を求める権利
6. 他の医師に意見を求める権利(セカンドオピニオン)

診療統計

平成25年4月～平成26年1月(月平均)

外来患者数	100,874名(10,087名)
入院患者数	2,248名(225名)
退院患者数	2,235名(224名)
一日平均外来患者数	407.2名
救急搬入数	1,636件(164件)
紹介患者数	1,808名(181名)
手術件数 全身麻酔	490件(49件)
硬膜外・脊髄麻酔	59件(6件)



アクセス ●八潮インターから 5分(東京方面より)
●三郷インターから 15分(柏方面より)



上尾中央医科グループ
医療法人 社団協友会

八潮中央総合病院

日本医療機能評価機構認定

〒340-0808 埼玉県八潮市緑町1-41-3
TEL 048-996-1131 FAX 048-997-2315
http://www.yashio-cgh.jp

